

Service News サービス・ニュース

4月1日から
新サービス
スタート!

オンラインデータベース 「magazineplus」が ご利用いただけます

この春より当館のデータベース席に、お探しの雑誌記事や論文が、何という雑誌のどの号に掲載されているかを調べることができるデータベース「magazineplus」が加わりました。調べものや情報収集により便利になったデータベース席をぜひ活用ください。

- magazineplusとは…**
- 一般誌から専門誌、大学紀要、海外誌紙まで収録した国内最大規模の雑誌記事・論文情報データベース
 - 国立国会図書館(NDL)の「雑誌記事索引」ファイルを完全収録
 - 調査しにくい学会年報や論文集なども収録
- ※記事本文は読むことができません

5月の展示情報

※展示内容は変更する場合がございます。

- 2F パープルゾーン** 「浮世絵にみる江戸と芸術」(～5/15)
江戸時代、浮世絵は現代の新聞や雑誌のような身近な紙メディアでした。江戸の人々と同様に気軽に浮世絵に触れ、魅力を感じられるような本を様々な角度からご紹介します。
- 2F ホール** 日比谷カレッジ「図書館建築を読む」関連展示(～5/29) **NEW!**
みどりの感謝祭 関連展示(～5/14) **NEW!**
- 3F ブルーゾーン** 「時」(～8/14) **NEW!**
身近にありながら考えれば考えるほど謎が深まる時間について、哲学、物理学、自然科学などの観点から時をテーマにした小説や芸術作品まで幅広くご紹介します。
- 3F グリーンゾーン** 「デザイン、ものづくり、日本」(～6/12)
「日本らしいモノの形」とは何なのかをテーマに、日本の風土に基づいたものづくりや身の回りの製品デザインの歴史と新しい動きについて展示しています。
- 3F ホール** 「デザイン、ものづくり、日本」関連展示 **NEW!**
(ガラスケース、4/29～6/12)
「浮世絵にみる江戸と芸術」関連展示(ガラスケース、～5/15)

わたしの一冊

「空飛ぶ馬」 北村薫 著

友人に「絶対好きだと思おう」と薦められた一冊です。「私」の平凡な毎日に起こる不可思議な出来事の謎解きを通し、人の温かさ、哀しさ、そして毒が描かれます。著者は覆面作家だった当時「私」と同じ若い女性と思われていたとか。そんな憶測も納得できるほど、瑞々しい女性の内面が細やかに綴られた青春小説でもあります。

当館スタッフの推薦本をご紹介します。
おすすめする人 図書フロア 笹村留美子

東京創元社 / 1995年

大学生の「私」と作家の円紫さんが、日常の些細な謎を解き明かす、殺人事件の起こらないミステリ。

2F パープルゾーン 三角台

【江戸・東京】の本を集めたゾーン

ルドゥーテ「美花選」展 関連展示

6/19(金)



2Fパープルゾーン入口の三角台では、当館1F特別展示室で開催中の「ルドゥーテ「美花選」展」に合わせ関連書籍をご紹介します。「花のラファエロ」「バラのレムブラン」とも称された植物画家ルドゥーテについての本だけでなく、ボタニカルアート、植物学、ルドゥーテが活躍した時代のフランス革命前後の本などを取り揃えました。特別展を鑑賞後、華麗な花の世界の余韻を楽しみながらページをめくってみてはいかがでしょうか。



ルドゥーテが仕えた
マリー・アントワネットやジョゼフィーヌ
に関する本も展示しています。



Pierre-Joseph Redouté

日比谷カレッジ報告

霞ヶ関官庁街の景観変化

— 高層化と歴史的建築の保存の視点から —

講師：寺本英治（一般財団法人 建築保全センター専務理事）

海外の官庁街の紹介から始まり、議員会館建て替えの話や国会議事堂を中心とした官庁街の景観の有り方、千代田区の景観条例、地域行事への配慮について、様々な苦勞を行政側の当事者として携わってきた寺本氏より聞くことが出来た貴重な機会でした。建築、景観の視点で官庁街が語られた日比谷図書文化館ならではの講座でした。

3/11(水)

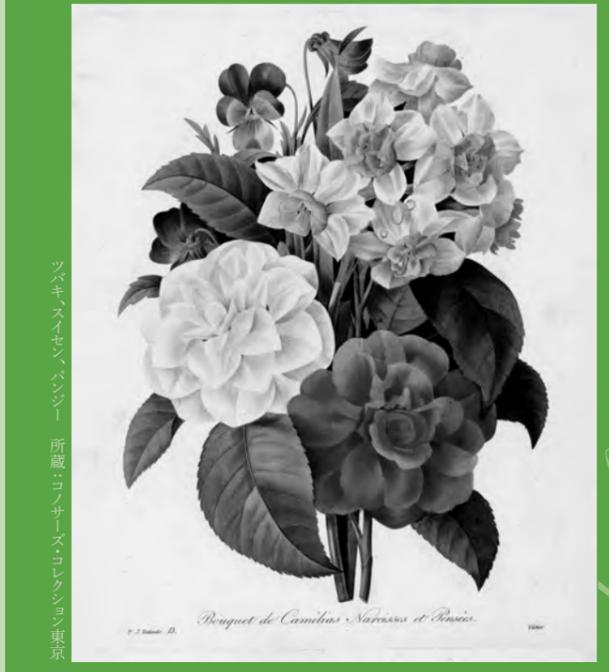
パリの官庁街の紹介をしています。日本の「集中型」とは違い「分散型」だそうです。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

特別展 ルドゥーテ「美花選」展

マリー・アントワネット、ジョゼフィーヌに
仕えた宮廷画家

点刻彫版の銅版画により、繊細優美かつ科学的な正確さを併せ持った作品を数多く残したピエール＝ジョゼフ・ルドゥーテ(1759-1840)。彼によって描かれた、代表作の一つである作品集「美花選」より華麗な花の世界をお楽しみ下さい。



ツペキズイセ、バンジー 所蔵・コナサリス・コレクション東京

開催中～6/19日(金) ※5月18日(月)展示替え 休館日:5月18日(月)、6月15日(月)

- 会場:1階 特別展示室 ● 観覧料:一般300円、大学・高校生200円
- ※千代田区民・中学生以下、障害者手帳をお持ちの方および付き添いの方1名は無料
- 平日:10:00～20:00、土曜:10:00～19:00、日祝:10:00～17:00 (入室は閉室30分前まで)
- 後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本 ● 特別協賛:みずほ銀行 ● 特別協力:コナサリス・コレクション東京 ● 協力:公益財団法人東京都公園協会、日比谷花壇、久保田チェンバロ工房、MMM

● 関連イベント ●

コンサート
「ルドゥーテの時代の音楽とチェンバロ レクチャーコンサート」
～「美花選」で装飾されたチェンバロの調べ～
チェンバロとフルートのアンサンブルをお楽しみ下さい。

- 講師:平野 智美(チェンバロ奏者)、高市 紀子(フルート奏者)、久保田 彰(チェンバロ製作家)
- 日時:5月12日(火) 14:00～15:30(13:30より受付)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員:200名 ■ 参加費:500円

トークショー
「ルドゥーテとオールドローズの魅力」
ルドゥーテが描いた、オールドローズへの想いなどについてお話いただきます。

- 講師:後藤 みどり(コマツガーデン代表)、中村 美砂子(アンジェローズ代表)
- 日時:5月25日(月) 14:00～15:30(13:30より受付)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員:200名 ■ 参加費:500円

ワークショップ
「大人の塗り絵 ルドゥーテのバラを塗ってみよう!」
ルドゥーテが描いたバラの花を、あなたの手で彩ってみませんか。

- 講師:藤岡 敬三(画家) ■ 日時:5月21日(木)14:00～15:30(13:30より受付)
- 会場:4階スタジオプラス(小ホール) ■ 定員:40名 ■ 参加費:500円 ※ご用意いただくものではありません。

ツアー
「初夏の日比谷公園 花めぐり」
日比谷公園をめぐり、花々や木々の緑を感じながら園内の植物散策を楽しみます。

- 講師:高橋 康夫(公益財団法人 東京都公園協会 緑と水の市民カレッジ事務局長)
- 七理 朋子(公益財団法人 東京都公園協会 緑と水の市民カレッジ事務局教育調査係長)
- 日時:5月26日(火) [午前の部] 10:30～12:00(10:00より受付)
[午後の部] 14:00～15:30(13:30より受付)
- 集合:日比谷図書文化館1階受付前 ■ 定員:各回25名
- 参加費:各回500円(保険代含む・参加者1名につきルドゥーテ「美花選」展招待券1枚付)
※申込み時には住所もお知らせください。

イベントいずれも▶申し込み方法:電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)、来館のうえ1F受付にて、①講座席 ②お名前(よみがな) ③電話番号をご連絡下さい。

calendar 開館時間:平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2015年 5月							2015年 6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
31													

お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp



5・6月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

5/14 (木) 江戸歴史講座 第31回 井伊直弼生誕200年記念 井伊直弼の実像—なぜ無勅許で条約を結んだのか

講師：山本 博文（東京大学史料編纂所教授）

桜田門外の変で暗殺された大老井伊直弼。彼が朝廷の勅許を得ず日米修好通商条約の締結を指示したのはなぜか。彦根城主として、大老として、様々な顔を見せる井伊直弼という人物はどんな人間だったのか。その実像に迫る。

- 日時：5月14日(木) 19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円(千代田区民500円)



桜田門外の変図
茨城県立図書館蔵

5/15 (金) 千代田区民講座 神田川と日本橋川の今と昔を歩く ～江戸名所図会を中心に～

講師：神谷 政明(歴史を訪ねる会)

徳川家康が江戸入府した頃、神田川と日本橋川の元になる平川と呼ばれた川が文京区や千代田区を流れていました。江戸の情景を俯瞰的に描いた「江戸名所図会」をもとに、神田川と日本橋川の今と昔を比較しながら、時代の流れと変化についてお話しいたします。(主催：NPO法人神田雑学大学)



出典：『江戸名所図会』
お茶の水 水道橋
神田上水の懸樋(かけひ)

- 日時：5月15日(金) 19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名 ■ 参加費：無料
- ※4月20日(月) 千代田区民受付開始 区民以外は4月27日(月) 受付開始

5/21 (木) 世界の音楽 レクチャー&コンサート 開幕特別篇 「あなたの知らない日本とアジアの民族楽器」

ナビゲーター：甲田 潤(東京音楽大学民族音楽研究所専任研究員)

講師：稲見 恵七(明清楽研究者) 千葉 伸彦(アイヌ音楽研究者)

ウメトバエウ・カリマン(コムズ奏者) 美炎(馬頭琴奏者)

直川 礼緒(日本口琴協会代表) 劉 継紅(二胡奏者)

世界中で楽しまれている音楽からは、それぞれの土地の歴史や風土、文化が感じられます。音楽と人との関わりについて、様々な楽器を通じて学ぶ講座。今回はシリーズの開幕を記念して月琴・コムズ・口琴・トンコリ・馬頭琴・二胡の6人の奏者が勢ぞろいし、音楽にのせて世界への旅に誘います。(協力：東京音楽大学民族音楽研究所)



- 日時：5月21日(木) 19:00～ 21:00(18:30より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

5/24 (日) 演劇への入口講座 第3回 シェイクスピアの謎を解くのは『ハムレット』?

講師：門野 泉(清泉女子大学名誉教授) 松岡 和子(翻訳家)

演劇のみならず、世界の芸術文化に影響を及ぼした劇作家・詩人・俳優であるシェイクスピア。一体どのような人物だったのか、どのような時代に生きたのかという謎を解くヒントが、『ハムレット』に潜んでいます。門野氏による講演、門野氏・松岡氏による対談の二本立てで、シェイクスピアとその作品の魅力について、『ハムレット』を軸にお話します。



シェイクスピア・グローブ座

- 日時：5月24日(日) 14:00～16:00(13:30より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円(千代田区民500円)

▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

5/27 (水) 図書館建築を読む 第1回「光の構想設計」

講師：桂 英史(東京藝術大学大学院教授)

ネット時代にあっても、図書館建築について考えることは極めて知的な冒険です。古代から現代の国内外の図書館建築を紹介しながら、その時代精神と知のあり方について全4回でお話します。第1回は、書物を読む行為に欠かせない「光」をめぐる図書館建築の物語です。(協力：河出書房新社)

- 日時：5月27日(水) 19:00～21:00 (18:30より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

<第2回予告>

7月22日(水)「資本主義と図書館」(5月25日申込受付開始)



桂 英史

5/27 (水) 他 これだけは知っておきたい 中国経済の現在・未来(全2回) 第1回「中国経済の成長と世界への影響」 第2回「中国を動かす国家と大衆資本家たち」

講師：丸川知雄(東京大学社会科学研究所教授)

2014年には国内総生産(GDP)で日本の2.2倍を超え、2030年までにはアメリカを抜いて世界一の経済大国になる可能性も濃厚な中国。中国の産業と企業の現場を見つめてきた講師がダイナミックに発展する中国の現状と将来を分析するとともに、その成長が持続可能かどうかを2回にわたって語ります。

- 日時：第1回 5月27日(水)、第2回 6月4日(木) いずれも19:00～20:30 (18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名
- 参加費：2500円(全2回分・単回での参加は出来ません)



丸川 知雄

5/28 (木) 逆境で学ぶ(全3回) 第1回 オリンピック5大会に出場して

講師：上村 愛子(元女子モーグル日本代表)

吉井 妙子(ジャーナリスト)

トップアスリートの人生観から学ぶ全3回講座。第1回は1998年から2014年までオリンピック5大会に連続出場し、全ての大会で入賞を果たした元女子モーグル日本代表の上村愛子氏をお招きし、世界のトップを目指し続けた現役時代のことや弱い心との向き合い方などについて、対談形式で伺います。(主催：上廣倫理財団)

- 日時：5月28日(木) 18:30～20:00 (18:00より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名
- 参加費：500円(千代田区民及び学生は無料)

<第2回予告>

6月25日(木)「私のゴルフいっぽん道、そして賞金女王へ」
講師：古閑 美保(プロゴルファー)
(4月25日申込受付開始)

<第3回予告>

7月29日(水)「美しい『体操ニッポン』の源流」
講師：富田 洋之(アテネ五輪体操メダリスト)
(5月25日申込受付開始)



上村 愛子

6/3 (水) 他 ファイリング・ゼミ ～仕事の効率が上がる～ ワンランクアップのオフィス整理術(全2回)

講師：小野 裕子(ファイリング・コンサルタント/クレーター・オーガナイザー)

オフィス内のあらゆる文書・情報の整理のベースとなるのが「ファイリング・システム」です。本講座では紙ベースのファイリング・システムをベースにしながら、モノや電子データ、机まわりやオフィス空間といったことまで含めて、トータルなオフィス整理術を実践的に学びます。



- 日時：第1回 6月3日(水) 第2回 6月10日(水) いずれも19:00～21:00 (18:30より受付)
- 会場：4階 セミナールームA(会議室)
- 定員：20名 ■ 参加費：4000円(全2回分・単回での参加は出来ません)
- ※別途、教材費・資料代として864円がかかります。

6/14 (日) ピースピレッジ第32回 21世紀型組織「学習する組織」を創るリーダーシップとは

講師：熊平 美香(クマヒラセキュリティ財団代表理事)

今、前例のない問題の解決法を自ら見出す組織「学習する組織」を創るリーダーが増えています。複雑な問題解決を迫られる21世紀は、システム思考で物事を俯瞰し、構造的に捉える力と、新しい視点を自らのものにする力が不可欠です。そのリーダーシップについて考えていきます。(主催：NPO法人世界連邦21世紀フォーラム)

- 日時：6月14日(日) 14:00～16:30 (13:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：3000円



熊平 美香

6/17 (水) 他 『不思議の国のアリス』刊行150周年記念 英語学者とまなぶアリスの教室

講師：安井 泉(筑波大学名誉教授、日本レイス・キャロル協会会長)

『不思議の国のアリス』でキャロルが表現した世界は、ことばに隠された含蓄や興行きをもって広がり、言語学的にも文化的にも驚くほど立体的です。第1回は「ことば」を手がかりに、第2回は「テニエルの挿絵」を手がかりにして、キャロルの世界へとお連れします

- 日時：第1回 6月17日(水) 「ことばを手がかりにキャロルの世界へ」 第2回 7月15日(水) 「テニエルの挿絵も手がかりにキャロルの世界へ」 いずれも19:00～20:45(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：各回40名 ■ 参加費：各回1500円



『不思議の国のアリス』挿絵

6/18 (木) 世界の図書館シリーズ 第4回 図書館での教育活動とは何か? これからの公共図書館の課題、マンハイム市立図書館の実例に即して

講師：ベルント・シュミット・ルーエ(マンハイム市立図書館長)

外国人住民の比率が高いマンハイム市の市立図書館は、市民教育活動、多言語対応、読書支援などに力を入れ、学校と密接に協力して活動しています。館長がその取り組みと、将来の展望を語ります。(主催：ドイツ文化センター/千代田図書館/日比谷図書文化館)

- 日時：6月18日(木) 18:30～20:30 (18:00より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名
- 参加費：無料(5月20日(水)から申込受付開始)



ベルント・シュミット・ルーエ

6/25 (木) これだけは知っておきたいインド経済 モディノミクスとインド経済の将来展望

講師：絵所 秀紀(法政大学経済学部教授)

昨年5月に誕生したモディ政権に世界の注目が集まっています。本講座ではインド経済が直面している克服すべき課題は何か?そしてこうした諸課題に対してモディ政権はどのような戦略を打ち出しているのか?をとりあげていきます。

- 日時：6月25日(木) 19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：1000円



絵所 秀紀

■ こどもの読書週間 in 千代田区立図書館

5/7 (木) ヨムキクちよだ 2015 親子の絆を深める絵本の力 —ビジネスパーソンのための読み聞かせ講座

講師：児玉 ひろ美(OPIC読書アドバイザー、台東区立中央図書館非常勤司書)

親子の心を繋ぎ、絆を深める「読み聞かせ」で大切なのは、量より質。本講座では読み聞かせのコツ、年齢にあった本の選び方を中心に、子どもに読み聞かせたい基本的な絵本とイマドキのお薦め絵本も紹介します。好評を博した昨年に続く開催です。

- 日時：5月7日(木) 19:00～20:30 (18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：無料



児玉 ひろ美

☆「こどもの読書週間」—千代田区立図書館の取り組みから—

- 開催中～5/12(火)展示「きもちをつたえる絵本」：千代田図書館
- 開催中～5/12(火)おはなしに出会える/バン屋さん2015:千代田区役所1階さくらベーカーリー
- 開催中～6/6(土)むかしの道具展「かみしばいは語る」：四番町図書館
- 5/9(土)読み聞かせ・絵本講座(初級)—おはなしを届けよう：四番町図書館
- 5/9(土)ことばと音のフェスティバル：千代田区役所1階区民ホール
- ※詳しくは日比谷図書文化館、千代田区立図書館のホームページなどをご覧ください。

特別研究室 ミニ通信

特別研究室企画展示

10年後も手に取れる本に ～内田嘉吉文庫修復報告

▶開催中～6月14日(日)

日比谷図書文化館特別研究室は千代田区の特別なコレクションを手にとって見ることが出来る空間として開館以来運営されています。その中で使用による破損や経年劣化が進んだ本が見つっています。そこで2014年度、内田嘉吉文庫を中心に29点の蔵書の修復を行いました。後々まで手に取れるよう製本家が創意工夫を凝らした修復の成果をご覧ください。



(左から)
『Handbook of the Netherlands East-Indies』(1930年)
『吾等の知れる後藤新平伯』(1929年)
『島』(1929年)

Library Dining HIBIYA ■ライブラリーダイニング日比谷



地下1階のダイニングで提供されている「海老とアボカドのバジルソース」は、パスタ麺の中に食物繊維を練りこんだ「ファイバーパスタ」が使用されています。なんと1皿でレタス2.5個分の食物繊維!腸は第二の脳ともいわれます。ファイバーパスタを食べながらの読書で、頭脳明晰?!

※レジスタントスターチやβグルカンを含む食物繊維が配合されています。レタス可食部215gを1個としています。レタスの結球葉100g中の食物繊維は1.1gとして計算しています。『日本食品標準成分表2010』より算出。

ポモージュ広報より

風薫る5月。新緑がまぶしく、とても気持ちの良い季節です。連休もあり旅行など計画される方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。5・6月の日比谷カレッジは国際色豊かな講座が集まりました。その国について知ることは観光名所だけではない面白さに気づくきっかけになるかもしれません。日比谷から世界へ!是非、ご参加ください。